



三浦 郁子さん  
Miura Ikuko

〔中横田区〕

みうら いくこ / 今年4月発足の甲佐町交通安全母の会会長。地域の交通安全を見守りながら、積極的に住民同士のつながりづくりに取り組む。

## 交通安全を通して人と人がつながる家庭と地域づくり

「交通安全は、交通ルールを守る事が第一。交通安全母の会では、交通安全を通して、子どもからお年寄りまで安心して暮らせる家庭と地域づくりの手助けをしていきたい」と語るのは、甲佐町交通

安全母の会会長として地域の安心・安全に取り組む三浦郁子さん。

同母の会は、地域の交通安全活動を積極的に推進し、交通事故のない安全で快適な住みよい町づくりを実現するた

めに活動する母親を中心とした団体。本町では今年4月に発足し、各校区から5人ずつ選任され、会員数は25人。全国交通安全運動などで交通安全のPR、地域での交通指導などの活動をしている。

同母の会の竜野支部会長でもある三浦さんは、週3回、地域の子どもたちと共に小学校まで交通ルールとマナーを守りながら登校する、見守り

ボランティアを開始。「子どもたちを安全に学校まで送り届け、帰り道に道路のごみを拾って集めることは自分の1つの仕事。無事に往復して仕事を終わると達成感があります。登校中に子どもたちと会話するのも楽しいし、歩くことで健康づくりにもつながります」と三浦さん。「交通安全宣言にも『交通安全は家庭から』という言葉があるように、子どもたちが学校に行きたいと思う平和な家庭づくりも、母の会の活動で支援できれば」と意気込みを語る。

自らの信条を「自分が決めたことを、つまづいてでも自分の力でやってきた人にこそ魅力がある」と考える三浦さん。発足してまだ1か月の母の会だが、「今年は、今後も継続して活動できる組織としての道しるべを作りたい」と思案中。「交通安全を通して、子どもやお年寄りが楽しくコミュニケーションを取れるようなイベントや取り組みを考えていきたい」と、交通安全を通じた安心感のある地域づくりに思いを巡らせる。

## 広報 こうさ

2014年（平成26年）5月号  
通巻538号